



夢もつ子 No.149

令和4年 3月 2日

長崎市立西浦上小学校
副校長 大石 信弥

朝はまだ寒さが残りますが、日中はすいぶん暖かくなりました。鳥や虫が元気に飛んでいる姿を見ると、春の訪れを感じます。

昨日から3月に入りました。あいにく雨でのスタートとなりましたが、雨上がりの運動場では子供たちの歓声が響いていました。

さて、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置は3月6日（日）までとなっていますが、長崎市の感染者数もなかなか大きな減少にまでは至っていません。学校でも、これまで同様「マスク」「換気」「手洗い」をしっかりと続けています。今後も感染拡大防止にしっかりと努めていきます。

心の時間

西浦上小学校では、火曜日の朝8：15～8：25を「心の時間」としています。職員の「心の話」や「心の窓（生活アンケート）」など子どもたちの心を見つめた取組を行っています。1日（火）の朝は、担当職員の「心の話」でした。

「3月の目標は『思い出の校舎を美しくしよう』です。昨日、全校の掃除の様子を見て回りました。さすが、6年生！黙々と掃除を行っていました。西浦上小学校の掃除の目標は『そうじだいすき』です。『だまって』『いっしょうけんめい』『すみずみまできれいに』です。6年生は、きっとこの思いをもって掃除に取り組んでいたのですね。みなさんも思い出の校舎を美しくするために、担任の先生といっしょに何ができるか考えてみましょう。」

思い出の校舎で過ごすのも、6年生は13日、1～5年生は16日です。感謝の思いを込めてピカピカにします。

卒業式練習始まる

17日（木）の卒業式に向けて、本格的な練習が始まっています。1日（火）は、「別れのことば」の練習でした。例年なら、在校生とのやり取りや歌を入れた構成となるのですが、コロナ禍においての卒業式であるため、短い呼びかけとなっています。学年の代表者が述べることとなっているのですが、その言葉に思いを重ねて参加している様子が、6年生児童の後ろ姿から伝わってきました。予行練習を11日（金）に行う予定としています。小学校生活のまとめとして練習に臨む6年生の心が表れていました。



